

名品展

企画展 松本民芸館

松本市市制施行110周年記念



犬張子(東京)



三段箆筒(朝鮮半島)

白磁大壺(朝鮮半島)



馬の目皿(愛知県)



アイヌ着物(北海道)



大徳利 唐草(愛知県)

平成30年2月27日[火]～7月22日[日]

緑陰「用の美」市

【日 時】 平成30年5月26日(土)～28日(月)
午前9時～午後5時(最終日は午後4時まで)

【会 場】 松本民芸館

松本民芸館の中庭で、みすず細工、染織品、布ぞうり、小木工などの作品を展示販売します。

講演会「染色作家小島貞二と丸山太郎」

【日 時】 6月3日(日)午後1時30分～午後3時

【講 師】 染色作家 小島貞二氏

【定 員】 30人(要予約)

【料 金】 通常入館料

【休 館 日】 毎週月曜日(休日の場合はその翌日)

※5月1日、5月28日は臨時開館

【開館時間】 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

【観 覧 料】 大人300円、中学生以下・70歳以上の松本市民は無料



松本市立博物館分館

松本民芸館

松本市里山辺1313-1 TEL (0263) 33-1569

松本民芸館は、昭和37年(1962)、中町のちきりや工芸店店主、丸山太郎により松本市里山辺下金井の地に創館されました。

昭和11年に東京駒場の日本民藝館を訪れて以来およそ50年、75歳で亡くなるまで、太郎は民芸の道一筋に生きました。後に、戦争で日本人の美しい心や暮らしや用具を失っていた時、民芸運動こそ日本人の心の支えであると信じてこの道に身を投じたと回想しています。

著書『^{けいろくしゅう}鶏肋集』(昭和52年)の「蒐集物語」には、その思いが熱く語られています。

「私はぜいたくな暮らしをしようと一度も考えたことがない。(中略)それなのに物を買うときは分以上のことが度々である。こんな美しい物に生涯ふたびめぐり会うことができるだろうかと考えると心臓が高鳴ってしまう。(中略)ほんとうのいい物は価の高低などではなく唯心をとらえなぐさめ、はげまし、生きる明日への希望をかき立ててくれる。それは私と対立する物でなく私の中の物であり、物の中の私であるかもしれない。そんなうれしい人生をが持てることこそ幸福であらねばならぬ。自然に抗し、他人の社会に抗し、他人の心に抗さねば生きていけないと考える人々の中にあって凡てを愛することができるなら、それはこの世の浄土であってまた限りない自分への愛でもある。」

また、「いつも目の前の物が呼びかけてくるそれを求めるに過ぎない。知識や先入観など必要としない買い方であるがために年代や、珍品や、伝世の肩書きなどが少しも要はない。唯ありのまま物と私の心とがうまく合った時に私のところへ来てくれるのである。だから^{あつ}蒐めた品には個性が出てくる。丸山らしい物、それでいいと思う。」

この世にあって、幸せの浄土に生きた太郎らしさが光る当館の名品をご堪能ください。



松本市立博物館分館
松本民芸館
松本市里山辺1313-1 TEL(0263)33-1569
URL <http://matsu-haku.com/mingei/>



スケッチ(バーナード・リーチ)



松本の押絵「町人男姿」



大徳利(岡山県)



三重塔



馬



三春張子鞆鼓(福島県)



藍染筒描(布団地)

松本市市制施行110周年記念

企画展 | 松本民芸館

名品展



鉄絵刷毛目唐草文瓶(朝鮮半島)



釣り道具入れ(台湾)



薬味壺(スペイン)



枕(アフリカ)